

■ ウインド Etc. (風のエトセトラ) 東京都江東区の風景から

日本興亜損害保険(株)公務部第一課 松田 浩明

江東区はこんな町

私が江東区に引っ越してきたのは4年前の春。学生時代にテニスをしていたので“有明テニスの森”の近くの家を探し、今でも毎週土曜日午前にはレッスンを受け、金曜日の深酒を流しております。

移り住んでまだ4年ですのでわが町というのはおこがましいですが、少しだけ紹介させていただきます。江東区は江戸時代から川を中心に発展し、江戸幕府が木場を創設(1701年に新木場へ移転)した頃から木材・倉庫業、米・油問屋の町として発展いたしました。また、西瓜、かぼちゃ、ナスなどの農地が広がっていたようです。

明治時代になると工業地帯として発展し、昭和22年に区画整理が行われて、深川・城東の2区が合併し現在の江東区が生まれました。

門前仲町駅そばの富岡八幡宮(深川八幡宮)のお祭りは、赤坂の日枝神社の山王祭、神田明神の神田祭とともに「江戸三大祭」の一つに数えられています。

3年に1度の本祭りでは、大小あわせて120数基の町神輿が担がれ、その内大神輿ばかり54基が勢揃いして連合渡御する様は「深川八幡祭り」ならではのものです。

また、江東区には中央防波堤に2基、若洲海浜公園に1基の風車があり、2箇所を結ぶのが昨年開通した東京ゲートブリッジです。通行料無料なのが何よりも有り難く、友人が東京へ遊びに来た時には、羽田空港から東京ゲートブリッジを抜けてスカイツリーまでドライブしました。

風車の意外?な活用法

若洲海浜公園では、釣り・バーベキュー・サイクリングなどアウトドアが盛りだくさんです。7月下旬には社内のバーベキュー大会があり、お肉・焼きそばを美味しくいただきました。子供たちを連れて車で参加したのでお酒を飲めないのが残念でしたが、帰宅してからしっかり乾杯しました。

また、若洲には岡本綾子プロ監修のゴルフ場“若洲ゴルフリンクス”があり、コンペやプライベートゴルフに時々利用しています。

ラウンドしながらも風車が良く見えるのですが、会社の上司は風車の向きを見て風向きを掴んでいます。風車保険を担当しながら全く思いつかない私ですが、上司曰く「午前と午後では向きが変わる」と。風向きが分かってもスコアが大きく変わらないゴルフの腕はさて置き、冗談ながら「すべてのゴルフ場に風車が立ったらスコア良くなるかな」と談笑したことがあります。

皆様もぜひ若洲で一度ラウンドしてみたいかがでしょうか。

思い起こせば悪ガキだったあの頃・・・

父親の仕事の関係で7年ほどベルギーに住んでいたことがあります。今となっては日本語しか喋れませんが、当時の現地校では「日本人悪ガキ兄弟」として有名になるほど喋っていたそうです。ああ語学力だけあの頃に戻りたい。

毎年の夏・冬は2週間ぐらいバカンスに出かけ、MAZDAの濃紺の車で観光地を巡りました。

しっかり記憶に残っているのは風景よりも食べ物が多いですが、オランダの風車とチューリップは覚えています。童謡のチューリップで「あか、しろ、きいろ」とありますが、私の中では「あか、きいろ」です。

先日、父親と風車とバカンスの話をしてみたら「ほとんど車で寝ているか、兄と喧嘩していたのに本当に覚えているのか」と言われました。たしかに記憶ではなく、写真の記録をあたかも記憶としていたのかもしれませんが、でも子供の記憶なんてそんなものと思って自分の中の旅行をどんどん美化している私です。

最後に

最後までお読みいただきありがとうございます。本当は保険会社として陸上と洋上のリスクなどをご説明した方が少しは皆様のお役に立てるかもしれませんが、またいつかの機会に。

(完)